

千葉大学における 研究データ管理教育に関する報告

千葉大学附属図書館 熊崎由衣、千葉大学アカデミック・リンク・センター 國本千裕

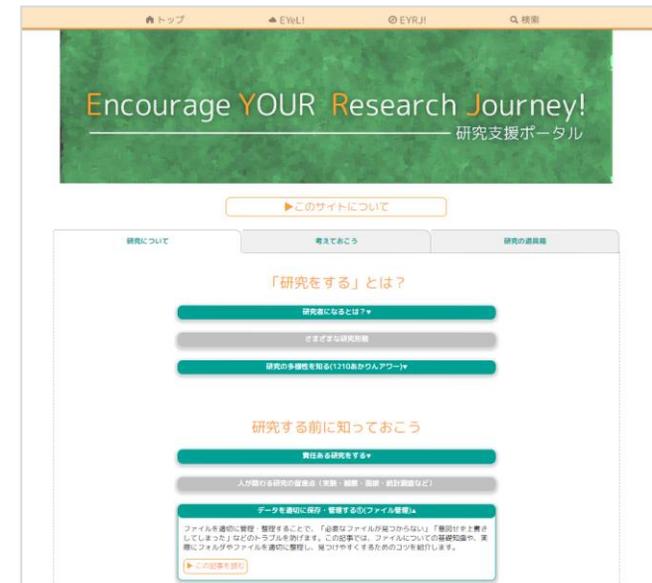
2023年度RDUF公開シンポジウム(2023/12/4)



AcademicLink

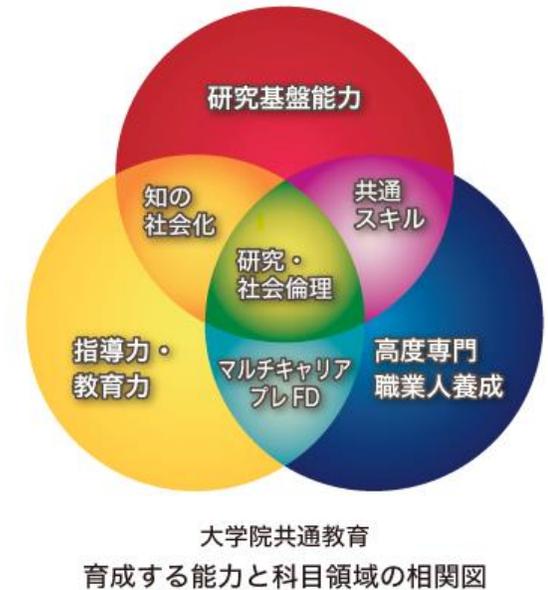
研究データ管理に関する本学の状況

- 「国立大学法人千葉大学研究データポリシー」策定(2023/6)
 - オープンサイエンス推進に向けた検討WG(2022/6~)
 - 竹内附属図書館長(座長)、國本ALC副センター長、学術研究・イノベーション推進機構副機構長／共用機器センター長、情報戦略機構長、医学・工学・環境学等の研究者
 - 事務組織はオブザーバー(附属図書館、情報企画課等)
- 研究データ管理の支援
 - 体制・環境整備：検討中
 - ALC／附属図書館では
 - 機関リポジトリでのデータ公開
 - 「研究支援ポータル:EYRJ!」:2021/6~
<https://alc.chiba-u.jp/eyr/resjrny.html>



授業の位置づけと概要

- 科目名：研究データの保存・管理・公開の基礎
 - 大学院共通教育として新規開設（2023/4～）
 - 全学開講科目の「共通スキル」科目として実施
 - これから研究者・支援者になる学生にとって必要な知識と院生として研究する上で必要な留意点を学ぶ
- 概要
 - 集中講義（全8回）、対面・メディア授業
 - 受講対象：博士前期課程・後期課程
 - 理学、園芸学、医学等の学生（M・D）が履修



授業構成の意図



研究データ管理と必要なスキルだけを、
教えても…大学院生には響かない!!!

- 研究データ管理についての知識・スキルを、
研究のプロセスに沿って + 研究リテラシーの一貫として伝える (文脈をつける)
- 学術情報流通の現在や変容、研究分野の現状
 - 査読制度、オープンサイエンス、成果公開に関する現行制度と課題、…
- 研究データ管理をする効果・影響
 - 研究手法の変化、公開を求める流れ、成果と評価の関係、…

授業構成

- 背景 1. 研究のライフサイクルと学術情報流通の仕組み(附属図書館・アカデミック・リンクセンター 竹内比呂也)
- 現状 2. 工学を例にした研究室・ラボでの研究活動(工学研究院 吉田弘幸)
- 現状 3. デジタルヒューマニティーズを例にした人文社会系の研究活動(人文社会科学系教育研究機構 小風尚樹)
- 背景 4. 学術情報流通のゲームチェンジとオープンサイエンス(文部科学省科学技術・学術政策研究所 林和弘)
- 影響 5. 研究評価の現在と未来(文部科学省科学技術・学術政策研究所 林和弘)
- スキル 6. 研究データの管理・公開・利活用(アカデミック・リンクセンター 國本千裕、附属図書館 熊崎由衣)
- スキル 7. 千葉大学における研究データの保存・管理の留意点(情報戦略機構 今泉貴史)
- 影響 8. 総合討議 データ管理計画(課題)のレビュー及び意見交換(参加可能な全教員)

学内のRDMステークホルダー(情報基盤、図書館)を巻き込み、

気鋭の研究者(文・理)、オープンサイエンス等の専門家が学生をencourage

研究データ管理（第6・8回）の内容

- 研究ライフサイクルと研究データ
 - 定義、研究とデータの関係、受講者の研究データの取扱い（議論）
- 研究データ管理
 - 必要性：自分／他者のためにできること
 - データ管理計画：DMPの必要性、資金配分機関のポリシー
- 公開・共有・非公開
 - 留意点、作業（クリーニング、READMEファイル、リポジトリ選択、利用条件、…）
- 総合討議
 - 受講生がデータ管理計画を作成し（課題）、教員がレビュー

スキル中心

影響・効果

「研究データの管理・公開・利活用」での考慮

- 構成・内容上の考慮

- 大学院生にとって身近な問題からとりあげる
- 研究の文脈に沿って、研究者視点を意識して伝える
 - 例:研究室でのデータ共有、論文投稿時に求められる事例
- 若手研究者が直面する変化を「自分事」として考えてもらう
 - 例:総合討議、データ管理計画作成

- 個人的には…

- 研究自体の展開を意識して研究データ管理・成果公開を考えるよう伝える
- 研究データ管理は行われているもの。今起きている考え・方法の変化を伝える
- 分野でイメージの異なる(かもしれない)語義・行為を意識して説明する

まとめ

- 授業「研究データの保存・管理・公開の基礎」では
研究プロセスと展開を踏まえた広い視野で授業を構成
- ALC／附属図書館は**正課と正課外両方**から教育を実施
 - 大学院共通教育「研究データの保存・管理・公開の基礎」
 - 「研究支援ポータル:EYRJ!」のコンテンツ作成

コンテンツは随時追加していきますのでご覧ください

データを適切に保存管理する

データリポジトリでの研究データ公開

研究成果をオープンアクセスにする ほか

